

共立女子第二中学校

2024年度

入学試験問題（1回PM）

【 国 語 】

試験時間 50 分

【 注 意 】

- 1 試験開始の合図があるまで、中を見てはいけません。
- 2 問題は一～三で、全部で12ページです。試験中によごれや不足しているページに気づいた場合は、手をあげて監督かんとくの先生を呼んでください。
- 3 解答はすべて解答用紙にはっきりと記入し、解答用紙だけを提出してください。

一、次の文章を読んで、後の各問いに答えなさい。(本文には一部改めたところがあります)

学校の科目では「理科」と呼んでいます。通常私たちが当面する自然現象に関わる問題を「科学」と呼ぶのは、それが社会的な事象や人間の生き方、つまり学校の科目で言えば社会や歴史や国語など他の科目にも関連しているためでしょう。理科が対象とするのは自然物そのものですが、「科学」はそれだけに留まることなく、「科学的判断」とか「科学的予測」と言われるように、生じている自然現象に対する考え方(判断、予測)や社会との関係までも問うことになるからです。「理科的判断」とか「理科的予測」と言うのと、^①ニュアンスが大きく異なることがわかれると思います。また、直面する問題の解決のために科学の立場からどう考えるかは人間の生き方への重要なヒントになるように、科学は自然と^②が関係して繰り広げられる現象を全分野から論じるという意味があります。

つまり、科学を学ぶとさまざまな問題に応用でき、科学の力によって物事の仕組みや歴史的^③、そして思いがけない社会的関係までも発見することができると考えられるのです。科学は、見えない部分で何が起こっているかを想像し、あたかも^④のように見抜く学問なのです。そのような科学の営みを積み重ねていくと、世の中のさまざまな事柄に対しても幅広い見方ができるようになるのではないのでしょうか。いろんなことを学び考え想像するのが科学の真髄^⑤なのですから、直接自分で経験したことがなくても、科学の力によって頭の中で追体験できるようになるでしょう。それによって、難問に対して新しいヒントが得られるかもしれない。違った観点からものを見ると、違った姿に見えることは確かで、^⑥それによってこれまで考えたことがなかったような新鮮なイメージが思い浮かんだりするでしょう。科学は、そんな可能性を秘めているのです。

^⑦つまり、科学を学び、科学の考え方を応用するということを通して、「知ることが生きる力に変えられる」ということに繋がるのです。

昔、フランス・ベーコンという人が「知は力なり^⑧」と言ったそうです。元々は、経験によって得られた知識を活かして自然に對すれば、自然を支配する力を得ることができるといいう意味の言葉のようです。私は、自然を支配するといいう考え方は好きではないの

で、この言葉を、さまざまな科学的な経験を積み重ねれば、自然のみならず社会や人間の世界の真実まで認識する力を獲得することができる、という意味に受け取っています。

そして、「知」という言葉には科学的知識も含まれるけれど、英知や理知や機知など物事の道理や⑨一般のことを意味する英語の「インテリジェンス」という言葉がもっとも近い感じがします。インテリジェンスは、理解力、思考力、知性、理性、知識などを総称した、知的な世界をつかみ取る力を意味します。そのような知をわかまえている人間こそ、本当の生きる力を備えていると言ってもいいのではないかと思います。

「科学する」ということは、私たちが自然のうちにできる知的作業であるとともに、「知は力」を証明するために人が意識的に行う営みの一つでもあると言えるのではないのでしょうか。だから、いろんな社会的・人間の事柄に対しても、

- (1) なぜその事柄が起こったかの仮説を持ち、
 - (2) それが事実であるか事実ではないかをさまざまな証拠によって弁別し、
 - (3) その事柄の背景にある、まぎれもない一つの確かな「真実」を発見する、
- というふう言い換えることができるでしょう。つまり、科学の精神は何に対しても適用できることになります。「科学する」ということを幅広くさまざまな問題に応用して、私たちの生き方に反映させるということが大事なのではないでしょうか。

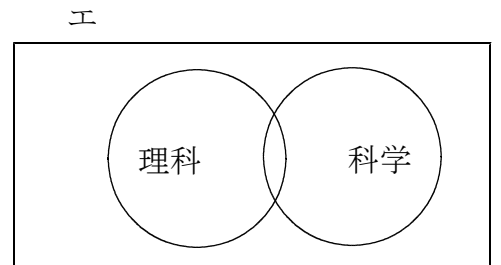
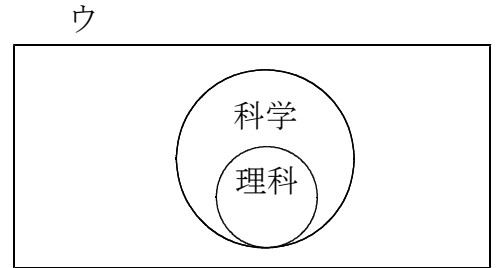
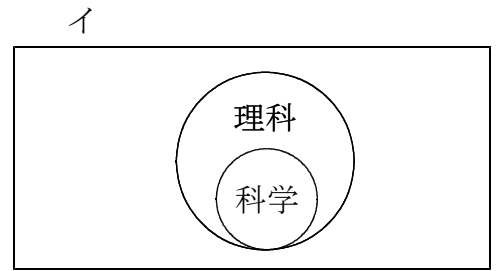
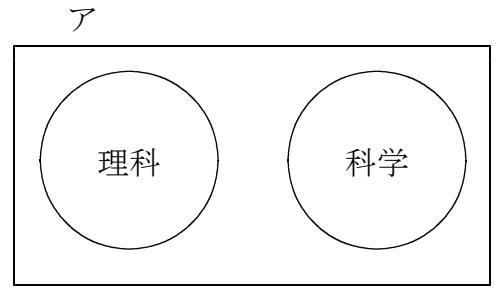
〔池内了『なぜ科学を学ぶのか』による〕

*真髓 〓 物事を中心・精神ともいうべきもの。

*機知 〓 その場にに応じてとつさに働く鋭い才知。

*弁別 〓 区別すること。

問一 ① 「ニュアンスが大きく異なる」とありますが、次の図で「科学」と「理科」の関係を表すのはどれですか。最も適するものを選び、記号で答えなさい。



問二 ②にあてはまる語を本文中より一語でぬき出しなさい。

問三 ③にあてはまる語として最も適するものを選び、記号で答えなさい。

- ア 誤り イ 繋つながり ウ 隔へだたり エ 決まり

問四 ④にあてはまる語句として最も適するものを選び、記号で答えなさい。

- ア どこまでも想像を飛ばたかせられるか イ あの問題の原因の根本を透すかし見るか
 ウ それが実際に目の前で起こっているか エ この当時の社会の仕組みを手取るか

問五 ⑤「幅広い見方」の説明として最も適するものを選び、記号で答えなさい。

- ア 一つの問題に対し、たくさんの意見を取り入れて検討すること。
 イ 自然物との関係を重視し、多くの命を重んじるよう努めること。
 ウ 一方的でなく、多くの視点で物事をとらえ総合的に考えること。
 エ 多くの問題に対し、バランスよく丹念たんねんに注目し考えてみることにすること。

問六 ⑥「それ」が指していることを本文中より二十五字以内で探し、はじめと終わりの三字をぬき出しなさい。

問七 ⑦ には以下の文章が入ります。文脈に合うように順序を並べかえ、記号で答えなさい。

ア それに留まらず、人に話したい、一緒に感動いっしょしたいという気にもなり、何事にも自信を持って人と対応できるように なります。

イ そのような人間の集団では、人それぞれが異なった発見をしているだろうし、それを互たがいに尊重するという気にもなるのではないでしょうか。

ウ 実際、思いがけない結びつきが発見できると知ることが楽しくなり、「そんなことが本当にあるの？」と、自分が見つけた意外な発見に、自分自身が感動するに違いありません。

エ 豊かで、やさしく人と接し合えるようになるということ です。

問八 ⑧ 「知は力なり」とありますが、筆者はこの「力」をどのような力だと考えていますか。本文中より二十五字で探し、はじめと終わりの三字をぬき出しなさい。

問九 ⑨ にあてはまる語として最も適するものを選び、記号で答えなさい。

ア 知恵ちえ イ 知覚 ウ 知己ちぎ エ 知能

問十 本文の内容に合うものとして最も適するものを選び、記号で答えなさい。

ア 教科それぞれの知識を持つことは、物事を考える上の視点を増やすことにつながり、結果的に最初は気づくことができなかつたような発見をもたらす。

イ 経験によって得られた知識を身につけることで自然を支配し、世の中のさまざまな事柄に対してすっきりと解決策を導くことができるようになる。

ウ 原因を順序よく整理しながら、ものごとと向き合い、きちんと道筋を立てて考えることは、多くの場面で真実にたどり着く力である。

エ 理科的な考え方を深化させていくとやがて科学的な営みとなり、身近な自然物だけでなく人間の生き方にも応用することができる。

二、次の文章を読んで、後の各問いに答えなさい。(本文には一部改めたところがあります)

ハアちゃんの名前は、城山^{しろやま}隼雄^{はやお}。六人の男ばかりの兄弟の五番目である。ハアちゃんは^①大変困ったことに、泣き虫なのである。平素は楽しく元気になっているのだが、何かの加減で体中がじーんとなってくると、もうたまらない。いくら歯を食いしばって^{がんば}頑張っても^{なみだ}涙の方が勝手に流れ出してしまう。

ハアちゃんは昭和三(一九二八)年生まれである。ハアちゃんが大きくなるにつれて軍人の力がだんだん強くなり、^②「男の子は泣いてはいけない」という考えが国中に広がってきた。「泣く奴^{やつ}は、男ではないぞ!」と言われたりする。ハアちゃんは泣き虫のくせに、人一倍^ま負け惜^おしみが強いのである。なんでも誰^{だれ}にも負けるのは嫌^{いや}、と頑張っているのに、泣いてしまっってはどうにもならない。^③ハアちゃんは、泣き虫の自分が嫌で仕方がない。

「なんで、僕^{ぼく}だけ泣き虫なんやろ」と、ハアちゃんは考える。何しろ、他の五人の兄弟は誰も泣き虫ではないのだ。それどころか、誰もがスポーツは強いし、三番目のマト兄ちゃんなどは、けんかも強く、近隣^{きんりん}のガキ大将なのである。兄弟は強く元気だが、優しいので、誰もハアちゃんの泣き虫をからかったりしない。時にはかばうようなときもある。ハアちゃんは幼稚園^{ようちえんじ}児^こだけれど、考えるのが好きで、「なんで、僕^{ぼく}だけ」といろいろ考えてみるがわからない。こんなときに訊^きいてみると、なるほどということをよく言ってくれる、タト兄ちゃんに、そつと訊いたことがある。タトは答える。

「兄弟のなかで、ハアちゃんだけやさかい、イデンちゆうことはないな」

「イデン？」

ここでタト兄ちゃんは何だか難しいことを言ってよくわからなかったが、ともかく、生まれつきではないらしい。どうもよくわからんから、お母さんに訊いてみては、ということになった。いつか尋^{たず}ねてみようとお母さんは思ったが、ちよつと恥^はかしいような気がしたり、お母さんは忙^{いそ}がしいなと思ったりしているうちに、訊きそびれてしまった。

「ようちえんなんて、遊んでるだけで、ほんまは行かんでもええんやぞ」とマト兄ちゃんが言っていたのを、ちらっと聞いたこともあつて、ハアちゃんは幼稚園にほんとうは行きたくなかった。入園式のとときに、お母さんにくつついてなかなか離れず、お母さんを困らせたりした。ところが、はじまってみると、ハアちゃんは幼稚園がいつぺんに好きになってしまった。それは、担任の桑村雪子先生のおかげである。桑村先生は優しく、きれいである。何しろ、男ばかりの兄弟だから、ハアちゃんは若いきれいな女の人を見るだけで、④なってしまうのだ。

桑村先生が、「城山君はいい声しているね」などと言われると嬉しくて仕方がない。何しろ、城山家は全員が歌を歌うのが好きで、お母さんの弾かれる足踏みオルガンに合わせて、家族一同がそろって歌を歌ったりするので、兄さんたちと一緒に歌っているうちに、たくさん歌詞を覚えていくから、ハアちゃんは大得意なのである。幼稚園の庭に、桜の花吹雪が舞うのを見ながら、元気に歌う。幼稚園ははじまりも終りも歌があるのだが、終りの歌はこのようなのだ。

今日のけいこもすみました　皆連れ立って帰りましょう

あしたもまたまたここに来て　けいこや遊びをいたしましょう

先生ごきげんよう　さようなら　皆さんごきげんよう　さようなら

ハアちゃんは歌いながら、あしたも早くここに来たいと思う。桑村先生のお顔を見るだけでも嬉しいのだ。先生も、利発で

⑤目を輝かせたハアちゃん——お父さんは「ドングリ目のハアちゃん」と言ったりする——を特別に可愛がって下さっているようにも感じるのだ。

ところが、中学校の運動場の周りに立ち並んでいるポプラの木の葉が黄色く色づきはじめた頃、桑村先生が急に幼稚園をやめられることになった。お母さんの話によると、芦屋とかいう遠いところにお嫁に行かれるということだ。

幼稚園の遊戯室に皆が集まり、桑村先生のお別れの挨拶があつた。ハアちゃんは何も聞いていなかった。溢れ出ようとする涙をこらえるために下唇をかんで頑張っていた。しかし、近くで泣いている女の子たちを見たときに、もうこらえ切れなくなった。涙はとめどなく流れ、嗚咽のようになった。「男が泣いている」と、奇妙なものを見るような目つきで、女の子たちが見るのに対して睨

みかえすことなど、⑥の強いハアちゃんも今日はできなかった。ハアちゃんは、涙をよく拭き、元気そうな顔をしているか確かめて、おうちに帰った。幼稚園で泣いたことを、家族には知られたくないのだ。

昼御飯ひるごはんをお母さんと食べているとき、お母さんが優しく話しかけてこられた。

「今日、桑村先生のお別れ会あった？」

「うん」

ハアちゃんは急に仏頂面ぶつちやうめんになり無関心を装う。しかし、お母さんは話をやめない。

⑦「泣いた子いた？」

「女の子はな、うん」

ハアちゃんは、体中に何か異変が起こりつつあるのを感じ、部屋にある神棚かみだなに目を向け、何か珍しいものでもあるようなふりをするが、お母さんは静かに話しかけてきた。

「ハアちゃん、ほんまに悲しいときは、Aも、泣いてもええんよ」

もうたまらなかった。ハアちゃんは涙の流れ出してくるのを止められなかった。しまいには、お母さんの膝ひざに顔を埋めて泣いた。お母さんの膝は暖かく、優しくかった。Bも、泣いてもええんよ」などということは、ハアちゃんはそれまでに誰からも聞

いたことはなかった。何だか泣き虫の自分が嫌いでなくなったような気持ちになって、ハアちゃんは庭を眺めた。庭にはお父さんの自慢じまんの五葉の松が、悠々とそびえていた。「僕もそのうちに五葉の松に上れるようになれるかも」とハアちゃんは思った。五葉の松には、マト兄ちゃんまともは上れるが、小さい子には難しくて上れないのだ。

ハアちゃんは、ふと思いついたようにお母さんお母さんに尋ねてみた。

「僕僕だけなんで泣き虫なん？」

何だかお母さんの顔が曇くもって見えたので、ハアちゃんはあわててつけ足した。

「タト兄ちゃんは、イデンとはちやう、言うつつたけど」

お母さんは話をしようかどうか少し迷っておられたようだが、とうとう、

「それはね」

と話しはじめた。すると、お母さんの目にはもう涙が浮かんで来たようで、ハアちゃんは、はっと目をそらして庭を見た。五葉の松も何だか元気がなさそうに見える。

お母さんのお話はこんなことだった。ハアちゃんは覚えているかどうか。弟のあきちゃんが二つで亡くなったとき、お母さんは悲しくて泣いたが、ハアちゃんも一緒に大泣きをした。お葬式そうしきのとき、お棺かんを出そうとすると、ハアちゃんはその前につつ立って、
*「ほったらあかん」と叫さけんで、泣きながらお棺が出てゆくのを必死で止めようとした。これには大人たちも貰もらい泣きなをした、というのである。

ハアちゃんは何も覚えていなかった。しかし、あきちゃんと一緒に遊んだ姿はすぐ思い浮おもかんだ。あきちゃんがジンベ*さんを着て、棒をふりあげ、兵隊さんの真似まねをして、「トツカン！」と走るのだ。お母さんは着物姿だったが、どんな着物かわからないが、ともかく美しく、にこにこ笑いながら、あきちゃんの走る姿を目で追っておられる。ハアちゃんも負けずに、何か棒を持って「トツカン！」と走る。それがやたらに嬉しく楽しかった。しかし、あきちゃんは病気で死んでしまった。お母さんはあまりのショックに、毎日、仏壇ぶつだんの前で御詠歌ごえいかを涙ながらにあげ続けた。他のことは何もする気がしなかったのだ。そんなとき、お母さんの傍そばにはいつもハアちゃんがつきまとい、お母さんと一緒に泣いたり、御詠歌をあげる真似をしたりした。^⑧それによって、お母さんの心はどれほど慰なぐさめられたかわからない。

しかし、

「それがもとで、ハアちゃんだけが泣き虫になったんやろうかね」

とお母さんは言われるのだ。

話を聞いているうちに、何だかもうひとつわけはわからないながら、ハアちゃんは泣き虫でも「別にかまへんわ」という気になってきた。お母さんも胸のつかえが降りたような感じで、二人とも少し明るい気持ちになってきた。

「ハアちゃん、もう元気に外で遊んできたら」とお母さんが言われたとき、

「ハアちゃん、遊ぼう」

という声が聞こえてきた。隣の孝ちゃんが誘いに来た。

「これ、孝ちゃんと食べなさい」

とお母さんから、イチヨウせんべいをもらって、ハアちゃんは元気よく出て行った。孝ちゃんは、せんべいをもらってご機嫌である。

「せんべい食べたなら、草餅づくりしようか」

孝ちゃんの提案で、家の塀の外にある岩の上で、草をつぶし、土をまぜて草餅づくりをする。二人で餅づくりをしているうちに、孝ちゃんが話しはじめた。

「今日、桑村先生のお別れ会があったな」

「うん」

と返事をしたが、ハアちゃんは少し心配になってきた。孝ちゃんに泣いたところを見られたかも知れない。とんぼが飛んできたので、

「あ、とんぼ、とんぼ」

と孝ちゃんの気をそらせようとするが、孝ちゃんはそんなことに気を移してなるものかとばかり、

「お別れるとき、泣いとったもん、おったなあ」

と言う。そればかりではない。何だか馬鹿にしたような目つきをしながら、

「泣いとんのは、Cだけやなかったなあ」

と責めたてるように言う。ここまでくると、ハアちゃんの負け惜しみ魂が爆発した。ハアちゃんはできかかっていた草餅を地面に放りなげて言った。

「泣いたってかまへん。ほんまに悲しいときは、Dでも、泣く子の方が、よつぽど偉いんやぞ」

泣く子の方が偉い、は言いすぎかなと思ったが、ハアちゃんのけんまくに、孝ちゃんは驚いてしまった。ハアちゃんがこんなに怒ることはめつたにないのだ。

「ハアちゃん、草餅つくるのうまいなあ。これの続きやろう」

と孝ちゃんのご機嫌とりを言って、放りなげられた餅をひろってきた。そんなことでだまされないぞ、とハアちゃんはドングリ目を見開いて孝ちゃんを睨みつけようとした。しかし、いけない。何だか体がじーんとしてきた。⑨ すぐに孝ちゃんから目をそらして空を見あげた。色づいたざくろの葉が見えたが、それも空の中ににじんでゆくようだった。

〔河合隼雄『泣き虫ハアちゃん』による〕

*ほつたら Ⅱ 放つたら。

*ジンベ Ⅱ 甚平羽織。

*トツカン Ⅱ 突貫（突撃の意）。

*御詠歌 Ⅱ 仏教の教えを和歌にし、それに音楽を付けて唱えるもの。

問一 ① 「大変困ったことに」とありますが、困る理由としてあてはまらないものを一つ選び、記号で答えなさい。

ア 男の子だから イ 兄弟にからかわれるから ウ 涙がこらえられないから エ 負けず嫌いだから

問二 ② 『男の子は泣いてはいけない』という考えが国中に広がってきた」とありますが、どのような世の中のようにすを表しているか。最も適するものを選び、記号で答えなさい。

ア 子どもにも大人のような自制心を求めるようす。 イ 女性の発言力や行動力が強くなってきたようす。

ウ 自分の気持ちを人に伝える機会が少ないようす。 エ 外国との戦争に勝てる国になろうとするようす。

問三 ③「ハアちゃんは、泣き虫の自分が嫌で仕方がない。」とありますが、自分の「泣き虫」について疑問に感じていることは何か。本文中の語句を使って二十五字以内で説明しなさい。

問四 ④・⑤ にあてはまる語句をそれぞれ選び、記号で答えなさい。

ア くりくりと イ しよぼしよぼと ウ ぞおーっと エ ぼおーっと

問五 ⑥ にあてはまる語句を、本文中より五字でぬき出しなさい。

問六 ⑦「泣いた子いた？」とありますが、この時の「お母さん」の気持ちとして最も適するものを選び、記号で答えなさい。

ア 「ハアちゃん」の気持ちを傷つけないように気をつけながらも、別れの悲しみに泣くことを肯定する気持ち。

イ 幼稚園のお別れ会で泣いたことを隠して帰ってきた「ハアちゃん」に、隠しごとはいけないと教える気持ち。

ウ 大好きな先生がやめたことを悲しんでいる「ハアちゃん」にわざと軽い口調で話しかけ、笑わせたい気持ち。

エ 優しく、きれいな先生はお嫁に行くために幼稚園をやめるのだから、悲しむ必要はないとさとしたい気持ち。

問七 A D にあてはまる語句として最も適するものを選び、記号で答えなさい。（記号は何度使ってもかまいません）

ア 男の子	イ 女の子
-------	-------

問八 ⑧「それによって、お母さんの心はどれほど慰められたかわからない。」とありますが、「それ」の内容として最も適するものを選び、記号で答えなさい。

ア 「あきちゃん」の短い一生のなかで、兄の「ハアちゃん」だけが「あきちゃん」と一生懸命楽しく遊んでくれたこと。

イ 「ハアちゃん」が思い切り甘えることで、幼い子どもを亡くした「お母さん」に再び生きる気力を与えてくれたこと。

ウ わが子の死で悲しみのどん底に沈む「お母さん」に「ハアちゃん」が常によりそい、一緒に心から泣いてくれたこと。

エ 悲しんでいる「お母さん」に「ハアちゃん」がやさしく話しかけ、なぐさめや励ましの言葉をかけ続けてくれたこと。

問九 ⑨「すぐに孝ちゃんから目をそらして空を見あげた。」とありますが、「ハアちゃん」がそのようなしぐさをした理由を本文中の語句を使って二十字以内で説明しなさい。

三、次の各問いに答えさい。

問一 次の①～④の慣用句の□にあてはまる「色を表す漢字」をそれぞれ選び、記号で答えなさい。

- ① □ 菜に塩 ② □ 恥はじをかく ③ 腹が□い ④ □ 羽の矢が立つ

ア 黄	イ 青	ウ 赤	エ 白	オ 黒	カ 緑
-----	-----	-----	-----	-----	-----

問二 次の①～④の空らん□・□に反対の意味になる漢字を入れて四字熟語を完成させなさい。

- ① 古今 □A □B ② 自 □A 自 □B ③ 七 □A 八 □B ④ □A 変 □B 異

問三 次の①～④の熟語が類義語の関係になるように、□にあてはまる漢字一字をそれぞれ答えなさい。

- ① 意外 || □ 外 ② 区別 || □ 別 ③ 使命 || 任 □ ④ 便利 || □ 宝

問四 次の①～④の文の——線部の漢字をひらがなに直しなさい。

- ① 穴あなをのぞきこむ。 ② 自宅じたくに取りに行く。 ③ 鋼材こうざいを仕入れる。 ④ 今日けふの用事が済む。

問五 次の①～④の文の——線部のカタカナを漢字に直しなさい。必要ならば、送りがなをひらがなで書きなさい。

- ① カンマツかんまつの索引さくいんを使う。 ② 幕府まくふにチュウセイちゅうせいをちかう。 ③ 不要物ふようぶつをジヨキョじょきょする。 ④ 敵てきの侵入しんにゅうをフセグ。